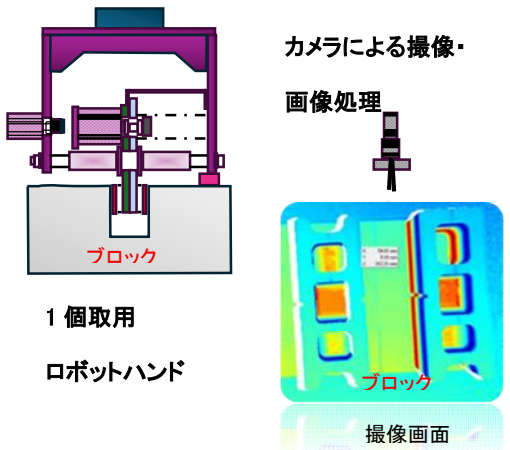


2025 年度「ロボット未活用領域導入検証補助金」の採択案件

※写真や画像は、イメージです。

※各分野 50 音順

① 北東工業株式会社 〔名古屋市港区〕 「中量多品種業態の金属プレス業における協働ロボット導入による 実用性・有効性の検証」	■補助事業内容 金属プレス製品の取出し工程へ協働ロボットを導入することで、生産時間への影響を評価する。 多品種の製造業におけるロボット活用が進まない要因は、品番切り替えの段取りが多く発生することである。 ロボット導入による作業時間への影響を明らかにするために実証事業を行う。
② 丸茂工業株式会社 〔常滑市〕 「産学連携によるハンマー鍛造型打ち工程ロボット化の実証事業」	■補助事業内容 過酷環境下である鍛造現場の作業をロボットに置き換えるための実証事業を行う。 ハンマー鍛造型打ち工程は高度な技能を要するが、静岡大学発ベンチャー企業と連携し、振動・高温・突発的なトラブルへの対応力を検証し、ロボット導入における技術的な課題を明らかにする。
③ 有限会社ヤマプラ 〔西尾市〕 「多種多様な樹脂成型品の外観検査を自動化検証」	■補助事業内容 製品の外観検査工程について、AIカメラを搭載した協働ロボットを導入し、各製品の検査時間の短縮と検査精度の統一化を検証する。 色や形、大きさが違う 20 種類の各プラスチック製品の最初製品と中間製品と最終製品の検査を自動化することで、手作業ではばらつきのある検査時間、精度の最適化を目指す。

④ 株式会社ユニソン 〔豊田市〕 「コンクリートブロック 1 個取用位置検出画像処理ソフトの検証とロボットハンドの開発および動作検証」	 ■補助事業内容 作業者による手積みで対応していたコンクリートブロックの取出工程の自動化を検証する。 寸法違いによる品種が多いブロックをパレットから取り出すために、その位置を画像処理で認識、また、このブロックをさまざまな姿勢でハンドリングできるハンドの開発を行い、動作検証を実施する。
---	---

⑤ 国立大学法人豊橋技術科学大学 〔豊橋市〕 「現場目線の『こういうのでもいいんだよ』型、最低限機能で後付け可能な段階的拡張型介護ロボットの実証事業」	 ■補助事業内容 ロボットによる自動化が進まない福祉の現場において、「これくらいでもいいんだよ」と思える介護の現場で使いやすい、必要最低限の機能を持つ介護ロボットから、現場が無理なく高機能なロボットへと適応していくことが可能か、ロボットの改良を重ねながら主観、客観の両面で評価を行う。
---	---

⑥ パナソニックハウジングソリューションズ株式会社 〔大阪府〕 「排泄センサーの介護施設共用トイレにおける個人識別機能の検証」	 ■補助事業内容 介護施設での排泄状況を自動記録する介護ロボット（排泄センサー）の共用トイレ対応を目指し、顔認証による利用者の個人識別機能の有効性を県内の介護施設にて検証する。
---	--

⑦ 川崎重工業株式会社 〔兵庫県〕
「手動ドア・エレベータ連携ロボットによる配送及びアーム付きロボットと連携した検体投入自動化の効果検証」



■補助事業内容

働き手不足が深刻な病院は、一般的に配送ロボットが苦手とする環境である。

県内の病院にて、手動ドア・エレベータ連携が可能な配送ロボットによる配送自動化及びアーム付き自走式ロボットと連携した検査装置への検体投入自動化の効果検証を行い、一連の検査業務の自動化と医療従事者の業務負担軽減を目指す。